

令和5年4月19日

千葉県農林総合研究センター長

I 向こう1か月間の予報

発生量及び発生時期は平年との比較で表す。予想発生量は「多」「やや多」「並」「やや少」「少」で表している。また、予報の根拠の(+)は多発要因、(-)は少発要因であることを示す。並[発生なし]は平年並で、今年発生がないことを示す。

なお、「並」とは平年値を中心にして40%の度数に入る幅、「やや多」「やや少」は「並」の外側20%の度数に入る幅、「多」「少」は上記3者の外側10%の度数に入る幅である。

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
イ ネ	イネミズゾウムシ	少 予想発生時期早	2月越冬量：少(-) 気象予報：気温高(+) 3月1日以降の有効積算温度：高	<ul style="list-style-type: none"> 常発地や昨年多発したほ場では、苗箱処理剤で薬剤防除する。 移植10日後ごろの飛来成虫数が2～3株に1頭以上の時は、成虫を対象に薬剤防除する。
	ヒメトビウンカ	並	2月越冬量：並	<ul style="list-style-type: none"> イネ縞葉枯病を媒介する。 昨年、栽培期間中や再生株で縞葉枯病が多発したほ場では、苗箱処理剤で薬剤防除する。
	イネクロカメムシ	並	2月越冬量：並	<ul style="list-style-type: none"> 越冬成虫の水田への侵入時期は5月下旬から6月である。 苗箱処理剤での防除では6月まで効果の持続する薬剤を選択する。
	イネドロオウムシ	並	前年6月の発生量：並	<ul style="list-style-type: none"> 常発地や昨年多発したほ場では、苗箱処理剤で薬剤防除する。 侵入最盛期(5月中旬ごろ)の飛来成虫数が10株に2頭以上の時は、薬剤防除する。
	スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ)	並	冬季気温(12～2月の気象庁アメダス千葉毎正時データの平均値)：並	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県HPに掲載されている以下の資料を参照する。 「STOP! ジャンボタニシ被害」 (リーフレット) https://www.pref.chiba.lg.jp/annou/nouyaku/documents/r3_zyantani_tirashi.pdf

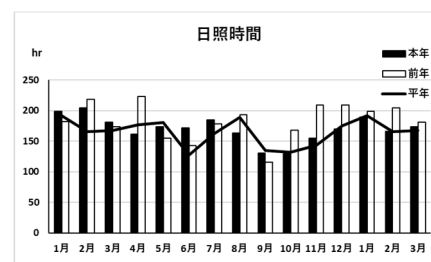
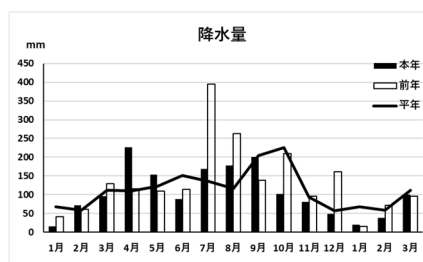
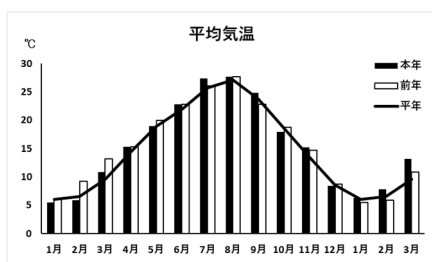
作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠	防除上の注意事項
冬 春 ト マ ト	うどんこ病	やや少	4月上旬発生量：やや少（－） 気象予報：日照時間少か並（＋）	・ 被害茎葉は、施設外に持ち出し、適切に処分する。
	灰色かび病	やや多	4月上旬発生量 ：やや多（＋） 気象予報：日照時間少か並（＋）	・ 施設内の換気を良くし、湿度を下げる。 ・ 被害果や被害茎葉は施設外に持ち出し、適切に処分する。 ・ <u>令和3年度病害虫発生予報第8号P5「これから注意を要する病害虫」も参照する。</u>
	コナジラミ類	並	4月上旬発生量 オンシツコナジラミ ：並〔発生なし〕 タバココナジラミ ：やや多（＋） 3月黄色粘着トラップ誘殺数 ：並 気象予報：気温高（＋） 日照時間少か並（－）	・ 施設内外の除草等で耕種的防除に努める。 ・ 栽培終了時にはハウス内を除草、トマトを抜根した状態でハウスを密閉し、完全に枯死させて本虫を死滅させる。
ス イ カ	つる枯病	やや多	4月上旬発生量 ：並〔発生なし〕 気象予報：気温高（＋） 降水量並か多（＋）	・ ほ場の排水を良くする。 ・ 多湿を防ぐため、トンネルの換気を適切に行う。
	アブラムシ類	やや多	4月上旬発生量 ：やや多（＋） 気象予報：気温高（＋） 降水量並か多（－）	・ ほ場周辺の雑草を除去する。 ・ 薬剤散布は葉裏まで十分かかるよう、丁寧にやる。 ・ 繁殖が早く、短期間で高密度となるため、防除適期を逃さずに早期防除する。 ・ 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
	ハダニ類	多	4月上旬発生量 ：多（＋） 気象予報：気温高（＋） 降水量並か多（－）	
温 州 ミ カ ン	そうか病	やや多	3月下旬発生量 ：やや多（＋） 気象予報：気温高（＋） 降水量並か多（＋）	・ 新梢の長さ1cmくらいが防除適期である。
	ミカンハダニ	やや少	3月下旬発生量：やや少（－） 気象予報：気温高（＋） 降水量並か多（－）	・ 冬期防除を見合わせていた園地では4～5月に防除を行う。 ・ マシン油乳剤（97%）は使用時期で希釈倍率が変わるので注意する。
カ ー ネ ー シ ョ ン	ハダニ類	並	3月下旬発生量 ：並〔発生なし〕 気象予報：気温高（＋） 降水量並か多（－）	・ 早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。 ・ 同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
	アザミウマ類	少	3月下旬発生量：やや少（－） 3月黄色粘着トラップ誘殺数 ：やや少（－） 気象予報：気温高（＋） 降水量並か多（－）	・ 施設内外の雑草や花がらは適切に処分し、ほ場周辺に放置しない。

II その他の情報

令和4年度における農作物の主要病害虫の発生状況について

○気象概況（千葉市）

		気温(°C)			降水量(mm、%)			日照時間(hr、%)		
		本年	平年	差	本年	平年	比	本年	平年	比
2022	1月	5.5	6.1	-0.6	16	68	23	199	192	104
	2月	5.9	6.6	-0.7	72	59	122	205	165	124
	3月	10.9	9.6	1.3	95	111	85	181	168	108
	4月	15.3	14.5	0.8	226	110	205	162	177	91
	5月	19.0	18.9	0.1	154	122	126	174	181	96
	6月	22.8	21.9	0.9	88	151	58	171	127	135
	7月	27.4	25.7	1.7	169	137	123	185	163	114
	8月	27.7	27.1	0.6	178	116	154	163	189	86
	9月	24.8	23.8	1.0	201	205	98	130	135	97
	10月	17.9	18.6	-0.7	102	226	45	130	132	98
	11月	15.2	13.4	1.8	80	94	85	155	144	108
	12月	8.4	8.6	-0.2	48	57	85	170	175	97
2023	1月	6.3	6.1	0.2	20	68	30	189	192	99
	2月	7.8	6.6	1.2	38	59	64	167	165	101
	3月	13.2	9.6	3.6	101	111	90	174	168	104



■ 本年値 □ 前年値 — 平年値

2022年1月から2023年3月までの気象概況（アメダス千葉、銚子地方气象台提供）

気温：4月から9月は平年に比べて高く、10月以降はほぼ平年並であった。

降水量：6月を除き4月から8月までは、平年より多く、10月、1月は少なかった。

日照時間：6、7月は平年より多く、他の月はほぼ平年並であった。

参考：梅雨入り：6月6日頃（平年6月7日頃） 梅雨明け：7月23日頃（平年7月19日頃）

○ 病害虫発生状況(巡回調査・フェロモントラップ調査)

1 イネ(4～8月上旬調査)

病害虫名	調査項目	育苗期	5月7日 基準日	6月2日 基準日	6月18日 基準日	7月2日 基準日	7月16日 基準日	7月30日 基準日	収穫期
いもち病	発病苗箱率	並							
	葉いもち発病株率			並	やや少	やや多	並	並	
	葉いもち上位2葉 発病葉率							並	
	穂いもち発病株率							やや多	やや少
ばか苗病	発病苗箱率	多							
スクミ	被害株率		やや多	並					
リンゴガイ	貝密度(/m ²)		多	やや多					
大型斑点米 カメムシ類	捕獲成幼虫数					並	並	やや多	並

2 普通作物

(1) サツマイモ(6～10月上旬調査)

病害虫名	調査項目	6月	7月	8月	9月	10月
ハスモンヨトウ	寄生幼虫数	並	並	並	並	やや多
ナカジロシタバ	寄生幼虫数	並	やや少	やや少	やや多	やや多
イモキバガ	被害葉率	やや多	並	並	やや多	やや多
イモキバガ 以外	被害葉率	並	やや少	やや多	並	多

(2) ラッカセイ(7～9月上旬調査)

病害虫名	調査項目	7月	8月	9月
茎腐病	発病株率	並	やや多	やや多
白絹病	発病株率	並	やや少	並
ヒョウタンゾウムシ類	被害株率	多	やや多	並

3 野菜

(1) スイカ(トンネル栽培)(4～6月上旬調査)

病害虫名	調査項目	4月	5月	6月
うどんこ病	発病葉率	並	並	並
アブラムシ類	成幼虫寄生葉率	並	並	多
ハダニ類	雌成虫寄生葉率	並	多	やや多

(2) サトイモ(6～9月上旬調査)

病害虫名	調査項目	6月	7月	8月	9月
汚斑病	発病葉率	並	並	並	並
ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率	並	並	並	並
ハダニ類	雌成虫寄生葉率	やや少	並	並	並

(3) 夏秋トマト (7~10月下旬調査)

病害虫名	調査項目	7月	8月	9月	10月
萎凋症	萎凋株率	並	やや多	やや多	やや多
葉かび病	発病株率	並	並	並	並
灰色かび病	発病株率	並	並	やや多	やや多
灰色かび病	発病果率		並	並	並
黄化葉巻病	発病株率	多	やや多	多	並
うどんこ病	発病株率	並	並	やや多	並
オンシツコナジラミ	成虫寄生株率	多	多	多	やや多
タバココナジラミ	成虫寄生株率	多	多	多	やや多
ハモグリバエ類	幼虫寄生株率	並	多	やや多	やや多

(4) 冬春トマト (12~4月上旬調査)

病害虫名	調査項目	12月	1月	2月	3月
うどんこ病	発病株率	やや多	やや多	やや多	やや多
灰色かび病	発病株率	多	並	やや多	並
灰色かび病	発病果率	多	並	並	並
黄化葉巻病	発病株率	並	並	やや多	並
オンシツコナジラミ	成虫寄生株率	並	並	並	並
タバココナジラミ	成虫寄生株率	やや多	並	並	やや多
ハスモンヨトウ	被害株率	並	多	並	並
アブラムシ類	成幼虫寄生株率	並	並	並	並

(5) 秋冬ネギ (7~12月上旬調査)

病害虫名	調査項目	7月	8月	9月	10月	11月	12月
さび病	発病度	やや少	並	並	並	並	並
べと病	発病株率	並	並	並	並	並	並
アブラムシ類	寄生株率	並	並	並	並	やや多	並
ハスモンヨトウ	被害株率	並	並	並	並	やや多	並
シロイチモジヨトウ	被害株率	並	やや多	やや多	やや多	並	並
ネギコガ	被害株率	並	並	並	並	並	並
ネギハモグリバエ	被害度	並	並	並	並	多	やや多

(6) 冬レタス (11~2月上旬調査)

病害虫名	調査項目	11月	12月	1月	2月
菌核病	発病株率	並	並	やや少	やや少
オオタバコガ	幼虫寄生株率	並	並	並	並

(7) イチゴ (10~3月上旬調査)

病害虫名	調査項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月
うどんこ病	発病株率	やや少	並	並	やや少	並	並
灰色かび病	発病株率	並	並	並	並	並	並
アザミウマ類	成幼虫寄生株率	並	並	並	やや多	やや多	並
ハスモンヨトウ	被害株率	やや多	並	並	並	並	並
コナジラミ類	寄生株率	並	並	並	並	並	並

(8) 冬キャベツ (10~2月上旬調査)

病害虫名	調査項目	10月	11月	12月	1月	2月
菌核病	発病株率	並	並	並	並	やや多
黒腐病	発病度	並	多	並	やや多	並
腐敗病	発病株率	並	並	並	並	並
ヨトウガ	卵幼虫寄生株率	並	並	並	並	並

(9) 春キャベツ (12~4月上旬調査)

病害虫名	調査項目	12月	1月	2月	3月
タマネギウワバ	寄生幼虫数/10株	並	並	並	並

(10) 冬春キュウリ (11~2月上旬調査)

病害虫名	調査項目	11月	12月	1月	2月
うどんこ病	発病葉率	少	少	やや少	少
べと病	発病葉率	並	並	並	少
アブラムシ類	成幼虫寄生株率	並	並	並	並
オンシツコナジラミ	成虫寄生株率	やや少	並	並	並
タバココナジラミ	成虫寄生株率	やや多	やや多	並	並
ハモグリバエ類	幼虫寄生株率	やや多	並	並	並

(11) チョウ目害虫 (フェロモントラップ調査)

病害虫名	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ハスモンヨトウ	やや少	少	やや少	やや少	やや少	並	少	少	やや少			
コナガ	やや少	やや多	並	少	並	並	並	並	やや少	やや少	並	並
シロイチモジヨトウ	-	やや多	並	やや多	多	多	やや多	やや多	やや多			

4 果樹

(1) ナシ (4~9月下旬調査)

病害虫名	調査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月
黒星病	発病果率	多	やや多	やや多	並	並	
炭疽病	発病新梢率	並	並	並	並	並	並
シンクイムシ類	被害果率	並	並	並	並	並	
ハマキムシ類	被害果率			並	並	並	
ハダニ類	寄生葉率	並	並	並	やや少	やや少	並
吸ガ類	被害果率			並	並	並	

(2) カンキツ (温州ミカン) (3~11月下旬調査)

病害虫名	調査項目	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
かいよう病	発病葉率	やや多	並	並	やや多	やや多				
かいよう病	発病果率				並	並	並	並	並	
そうか病	発病葉率	並	並	並	並	やや多				
そうか病	発病果率				やや多	並	並	やや少	やや少	
黒点病	発病果率				並	並	並	やや少	やや多	
ミカンハダニ	雌成虫寄生葉率	少	並	やや少	やや多	やや多	多	やや少	やや少	やや少
ミカンハモグリガ	幼虫寄生葉率	並	並	並	並	並	やや少	並	並	

(3) ビワ (3~5、9~10月下旬調査)

病害虫名	調査項目	3月	4月	5月		9月	10月
灰斑病	発病葉率	少	やや少	並		並	並
アブラムシ類	成幼虫寄生葉率	並	並	並		並	並
カミキリムシ類	被害穴数	並	並	やや少		並	並
カメムシ類	寄生果率		並	並			

(4) 果樹共通：果樹カメムシ類（フェロモントラップ調査）

病害虫名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
カメムシ類	やや多	やや多	並	やや多	やや多	並	並
シンクイムシ類	多	多	多	並	並	やや多	やや多
ハマキムシ類	並	多	やや少	やや少	やや少	少	やや少

5 花き

(1) カーネーション（9～3月下旬調査）

病害虫名	調査項目	9月	10月	11月	12月	1月	2月
立枯病	発病株率	並	やや少	やや少	並	並	並
萎凋病	発病株率	並	並	やや少	やや少	並	並
アブラムシ類	成幼虫寄生株率	並	並	並	並	並	並
ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率	並	並	並	並	並	並

(2) ストック（10～2月下旬調査）

病害虫名	調査項目	10月	11月	12月	1月	2月
(施設)コナガ	幼虫寄生株率	並	並	並	並	並
(露地)コナガ	幼虫寄生株率	やや少	やや少	やや少	やや少	並

菌核病、アブラムシ類、ハイマダラノメイガ 発生認められず。

● 特殊報、警報、注意報の発表状況

1 特殊報

令和4年10月26日 第1号 アズキさび病の県内初発生について

参考資料

○主要病害虫の発生状況

巡回調査結果（水稲：2月中旬、野菜：4月上旬、果樹・花き：3月下旬）

作物名 (調査地域)	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			本年値	平年値	前年値	
イネ (県内全域)	イネミズゾウムシ	畦畔0.25㎡越冬成虫数	0.06	1.44	0.10	前年7月調査 前年6月調査 前年6月調査
		イネゾウムシ	0.03	0.24	0.17	
	イネクロカメムシ	畦畔0.25㎡越冬成虫数	0.06	0.08	0.03	
		25株当たり寄生成幼虫数	0.01	0.75	0.01	
	ヒメトビウンカ	畦畔3㎡吸い取り成幼虫数	2.23	1.70	0.12	
		ツマグロヨコバイ	0.37	1.63	0.16	
	イネドロオイムシ	25株当たり寄生成虫数	0.13	0.35	0.11	
		スクミリンゴガイ	被害株率(%)	1.26	1.17	
冬春トマト (海匠、長生)	うどんこ病	発病株率(%)	0.40	2.87	9.60	
		灰色かび病	発病株率(%)	20.40	12.76	
	葉かび病	発病果率(%)	0.38	0.27	0.10	
		果実発病度	2.30	1.59	0.78	
	アブラムシ類	発病株率(%)	0.00	0.20	0.00	
		成幼虫寄生株率(%)	0.00	0.08	0.00	
	オンシツコナジラミ	黄色粘着トラップ誘殺数	0.21	0.14	0.00	
		成虫寄生株率(%)	0.00	0.92	0.00	
	タバココナジラミ	成虫寄生株率(%)	0.40	0.08	0.00	
		黄色粘着トラップ誘殺数	0.93	3.60	0.22	
	コナジラミ類	成虫寄生株率(%)	0.00	0.00	0.00	
		ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率(%)	0.00	0.00	
	ハモグリバエ類	幼虫寄生株率(%)	0.00	0.36	0.40	
		アザミウマ類	成幼虫寄生株率(%)	0.00	0.00	
春キャベツ (海匠)	菌核病	発病株率(%)	2.40	1.62	0.00	
		黒腐病	発病度	0.00	0.10	
	灰色かび病	発病株率(%)	0.80	1.84	0.00	
		アブラムシ類	成幼虫寄生株率(%)	5.60	2.07	
	コナガ	10株当たり寄生幼虫蛹数	0.00	0.21	0.00	
トンネルスイカ (印旛、山武)	つる枯病	発病葉率(%)	0.00	0.00	0.00	
		アブラムシ類	成幼虫寄生葉率(%)	0.60	0.16	
	ハダニ類	雌成虫寄生葉率(%)	0.60	0.08	0.00	
		ウリハムシ	寄生成虫数	0.10	0.00	
ハウススイカ (印旛、山武)	つる枯病	発病葉率(%)	0.00		0.00	2021~
		アブラムシ類	成幼虫寄生葉率(%)	0.20		
	ハダニ類	雌成虫寄生葉率(%)	0.60		0.00	
		ウリハムシ	寄生成虫数	0.00		
温州ミカン (安房)	そうか病	発病度	0.12	0.03	0.00	
		かいよう病	発病度	0.00	0.04	
	ミカンハダニ	雌成虫寄生葉率(%)	0.00	4.64	0.00	
ビワ (安房)	灰斑病	発病葉率(%)	0.75	3.95	0.00	
		アブラムシ類	成幼虫寄生葉率(%)	0.00	0.00	
	カミキリムシ類	被害穴数	0.00	0.08	0.00	
カーネーション (安房)	萎凋病	発病株率(%)	0.00	1.26	0.00	
		立枯病	発病株率(%)	0.00	1.10	
	アザミウマ類	成幼虫寄生株率(%)	0.00	1.14	0.00	
		被害株率(%)	0.80	11.20	0.00	
	ハダニ類	黄色粘着トラップ誘殺数	0.71	6.08	1.45	
		雌成虫寄生株率(%)	0.00	2.02	0.00	

トラップ月間誘殺数（3月）

種類	害虫名	トラップ設置場所	誘殺数（頭/日）			備考
			本年値	平年値	前年値	
性フェロモン	コナガ	海匠	0.46	0.61	0.14	
性フェロモン	ハスモンヨトウ	海匠	0.11	0.06	0.03	

○気象予報

4月13日気象庁発表

関東甲信地方における向こう1か月間の確率(%)

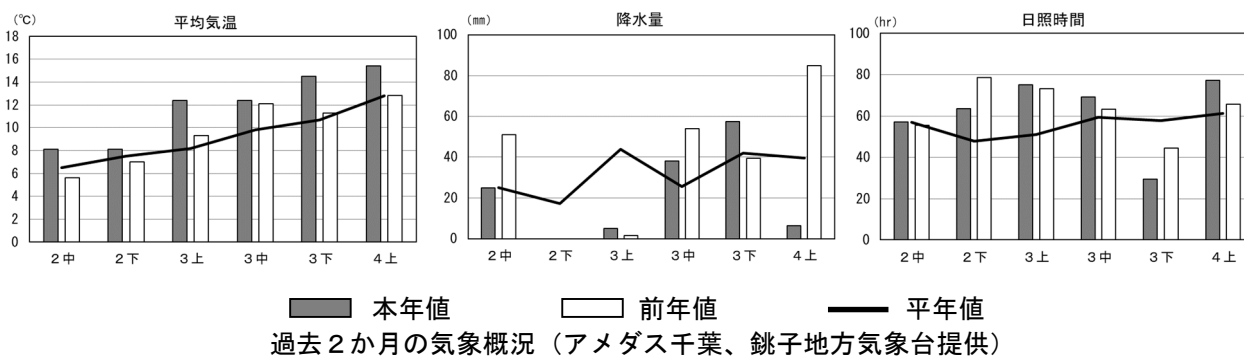
要素	低い・少ない	平年並	高い・多い
気温	10	30	60
降水量	20	40	40
日照時間	40	40	20

出典：気象庁ホームページ

向こう1か月間の各気象要素の平年値

(4月15日～5月14日銚子地方気象台資料)

要素	千葉	銚子	館山
気温(°C)	16.8	15.7	16.6
降水量(mm)	101.6	116.8	144.6
日照時間(hr)	175.6	181.8	179.4



農薬は適正に使用しましょう。無登録農薬の使用はできません。

- 農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍数、収穫前日数、総使用回数などが定められています。
- 登録番号のない薬剤は、農薬として使用できません。登録農薬には必ず登録番号が記載されています(記載例 農林水産省登録第〇〇〇号)。
- 農薬はラベルをよく読んで適正に使用しましょう。
- 飛散しないよう工夫して散布しましょう。
- 農薬を使用したら必ず記帳するようにしましょう。
- タンクやホースは洗いもれがないようきれいに洗っておきましょう。

- ・ 病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。
<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>
- ・ 次回の発行予定は5月17日です。なお、注意報等の臨時情報は逐次発行されます。
- ・ 薬剤の選定については、最新の農薬登録情報を確認してください。
<https://pesticide.maff.go.jp/>

問合せ先

千葉県農林総合研究センター病害虫防除課

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180番地1

TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp

